

# 「応用経済学専攻 国際政治経済学コース」カリキュラム

## 【一般入試入学者・推薦入試入学者】

	年次	研究指導	講義科目			登録制限 単位数*⑤
			演習科目*①	コア科目	基礎科目 (必修科目含む)	
登録制限 単位数	1	基礎研究指導	A:2 単位 B:2 単位	12 単位	必修:8 単位*②	22 単位
	2	応用研究指導	A:2 単位 B:2 単位			*③ 22 単位
最低必要修得単位数			8 単位	12 単位	8 単位	40 単位 32 単位*④

- ①：基礎演習および基礎研究指導は自専修（必修）に加え、他専修の基礎演習・基礎研究指導を各学期2単位まで随意科目として履修することが可能（希望する演習担当教員の科目選択指導にも出席し、許可を得た上で登録を行うこと）。
- ②：国際政治経済学コースの必修科目は、理論経済学・経済史専攻や応用経済学コースの所属学生とは異なります。詳細は「履修上の注意事項」を確認のこと。
- ③：1年次の修得単位数(単位認定分を含む)に基づく、残りの修了必要単位数に余裕単位8単位を加えた単位数が上限となる。  
(例)1年次20単位修得した場合、2年次は最大20単位(32-20(既得)単位+8(余裕単位)単位)まで登録することが可能。
- ④：単位認定の上限は、他研究科聴講科目、慶應義塾大学経済学研究科もしくは東京工業大学社会理工学研究科の科目を履修した場合、最大10単位となる。なお、入学前に「大学院先取り科目」としての既得単位(本研究科設置科目)は、それとは別に最大16単位まで認定することとする。
- ⑤：随意科目は、単年度16単位まで別枠で履修が可能。

## 【社会人入試入学者】

	年次	研究指導	講義科目			登録制限 単位数*⑤
			演習科目*①	コア科目	基礎科目 (必修科目含む)	
登録制限 単位数	1	基礎研究指導	A:2 単位 B:2 単位	12 単位	必修:8 単位*②	32 単位
	2	応用研究指導	A:2 単位 B:2 単位			*③ 22 単位
最低必要修得単位数			8 単位	12 単位	8 単位	40 単位 32 単位*④

- ①：基礎演習および基礎研究指導は自専修（必修）に加え、他専修の基礎演習・基礎研究指導を各学期2単位まで随意科目として履修することが可能（希望する演習担当教員の科目選択指導にも出席し、許可を得た上で登録を行うこと）。
- ②：国際政治経済学コースの必修科目は、理論経済学・経済史専攻や応用経済学コースの所属学生とは異なります。詳細は「履修上の注意事項」を確認のこと。
- ③：1年次の修得単位数(単位認定分を含む)に基づく、残りの修了必要単位数に余裕単位8単位を加えた単位数が上限となる。  
(例)1年次20単位修得した場合、2年次は最大20単位(32-20(既得)単位+8(余裕単位)単位)まで登録することが可能。
- ④：単位認定の上限は、他研究科聴講科目、慶應義塾大学経済学研究科もしくは東京工業大学社会理工学研究科の科目を履修した場合、最大10単位となる。
- ⑤：随意科目は、単年度16単位まで別枠で履修が可能。

### 【社会人入試入学者 1.5 年修了希望者の場合】

	年次	研究指導	講義科目			登録制限 単位数*⑤
			演習科目*①	コア科目	基礎科目 (必修科目含む)	
登録制限 単位数	1	基礎研究指導	A:2 単位 B:2 単位	12 単位	必修:8 単位*②	32 単位
	2	応用研究指導	A:2 単位			22 単位
最低必要修得単位数			6 単位	12 単位	8 単位	40 単位 32 単位*④

- ①：基礎演習および基礎研究指導は自専修（必修）に加え、他専修の基礎演習・基礎研究指導を各学期 2 単位まで随意科目として履修することが可能（希望する演習担当教員の科目選択指導にも出席し、許可を得た上で登録を行うこと）。
- ②：国際政治経済学コースの必修科目は、理論経済学・経済史専攻や応用経済学コースの所属学生とは異なります。詳細は「履修上の注意事項」を確認のこと。
- ③：1 年次の修得単位数(単位認定分を含む)に基づく、残りの修了必要単位数に余裕単位 8 単位を加えた単位数が上限となる。  
(例)1 年次 20 単位修得した場合、2 年次は最大 20 単位 (32-20(既得)単位+8(余裕単位)単位) まで登録することが可能。
- ④：単位認定の上限は、他研究科聴講科目、慶應義塾大学経済学研究科もしくは東京工業大学社会理工学研究科の科目を履修した場合、最大 10 単位となる。
- ⑤：随意科目は、単年度 16 単位まで別枠で履修が可能。

### 【推薦入試入学者のうち、1 年修了資格審査合格者の場合】

	年次	研究指導	講義科目			登録制限 単位数*⑤
			演習科目*①	コア科目	基礎科目 (必修科目含む)	
登録制限 単位数	1	応用研究指導	A:2 単位 B:2 単位	12 単位	必修:8 単位	22 単位
最低必要修得単位数			4 単位	12 単位	8 単位	40 単位 32 単位*④

【注】1 年修了資格審査合格者は、1 年次において修士論文提出に関わる諸手続を行なうことが出来る（1 年次で修了不可の場合、1.5 年修了を認める）。1 年修了不可の場合、2 年次は学費を含め【一般入試入学者・推薦入試入学者】と同じ扱いとし、1 年次の修得単位数(単位認定分を含む)に基づく、残りの修了必要単位数に余裕単位 8 単位を加えた単位数が上限となる。  
(例)1 年次 20 単位修得した場合、2 年次は最大 20 単位 (32-20(既得)単位+8(余裕単位)単位) まで登録することが可能。

- ①：自専修の応用演習および応用研究指導は必修。これに加え、自専修の基礎演習（および基礎研究指導）を、修了要件単位数に算入することが可能。基礎演習を履修しない場合、「選択科目・共通科目の最低必要修得単位数」は 22 単位となります。また、他専修の基礎演習・基礎研究指導を各学期 2 単位まで随意科目として履修することが可能（希望する演習担当教員の科目選択指導にも出席し、許可を得た上で登録を行うこと）。
- ②：国際政治経済学コースの必修科目は、理論経済学・経済史専攻や応用経済学コースの所属学生とは異なります。詳細は「履修上の注意事項」を確認のこと。
- ③：単位認定の上限は、他研究科聴講科目、慶應義塾大学経済学研究科もしくは東京工業大学社会理工学研究科の科目を履修した場合、最大 10 単位となる。なお、入学前に「大学院先取り科目」としての既得単位（本研究科設置科目）は、それとは別に最大 16 単位まで認定することとする。
- ④：随意科目は、単年度 16 単位まで別枠で履修が可能。